

市長	副市長	部長	課長	課長補佐	主査	担当	取扱者

様式第2 (第8条関係)

市民活動助成金交付申請書

2023年4月21日

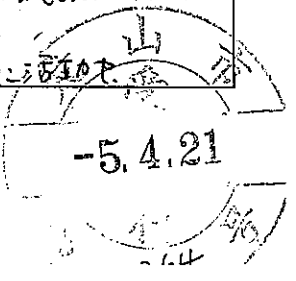
犬山市長

団体の名称 おやん農園
 所在地 犬山市長者町5-106
 代表者 玉置希望 (代表)
 (役職)

市民活動助成金の交付を受けたいので犬山市市民活動助成金交付要綱第8条の規定に基づき下記のとおり申請します。

1. 事業名	野菜を自給しよう！無農薬野菜をたのぼう！
2. 助成金交付申請額	金 16,000 円 (総事業費 32,000 円)
3. 助成部門	(1)はじめの一步部門 (2)市民活動助成部門 (3)コラボ・マッチング部門 ((1)~(3))のいずれかに丸を付けてください。 ※コラボ・マッチング部門の場合、協働する団体の名称
4. 事業実施期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
5. 事業の対象	子育て中の親子、農業に関心のある人
6. 事業の目的 (上記事業対象のどのようなニーズに応えようとする事業ですか?)	<ul style="list-style-type: none"> 野菜づくりに関わることで、自分たちが普段食べているものがどのようにできているか、また野菜を育てる楽しみや大変さを知り、食の大切さを心に育む。また農薬不使用の安心、安全な野菜を育て、収穫して食べることが出来る。 土に触れ、外遊びをすることで、健康な体づくりをすることが出来る。 親・子同士のつながりの場づくり、子どもが安心して遊べる場を提供する。
7. 事業の内容 (上記目的のために、この事業をどのように実施する予定ですか?)	<ul style="list-style-type: none"> 年間通じての野菜づくり(種まき、草取り、収穫、種とり)を平日は参加できる時に会員が週一回程度、月1回 土日にみんなが集まり作業を行う。 収穫したものを調理しみんなでお昼、ジャガイモ、ツツミイモなどたくさん収穫できると見込めるもの時は、収穫イベントを行い、市民の方にチラシの配布、SNSなどで呼びかけて参加してもらう。 多く収穫できたものは、犬山マルシェ、栗栖のイベントなどに出品販売し、地域の人々に活動の成果を知らせ、農薬不使用野菜を知ってもらう。

-5.4.21



8. 事業スケジュール (この事業を遂行するために、いつ頃、何をしますか?)
 ※コラボ・マッチング部門の場合は、役割を担当する団体名も記入してください。

時期	内容 (担当する団体名※)
4~5月	夏野菜の種まき、定植、草刈り
6~8月	夏野菜の収穫・炊事 (ジャガイモの収穫体験、マルシェ・栗産のイベントに出店)
9~10月	冬野菜の種まき、定植、草刈り
11月	サツマイモの収穫体験、炊事、春野菜の種まき
12~2月	冬野菜の収穫体験、炊事
2~3月	ジャガイモ・人参などの種まき

9. 期待できる効果・成果

(1) 事業の対象に対して、どのような効果が期待できますか? (地域社会への効果などを記入してください。) ※コラボ・マッチング部門の場合は、協働で実施する理由も記入してください。

- ・旬の野菜、農薬不使用の野菜が家庭に並ぶことで、健康で安心な食事を食べることができ、健康な体づくりができる。
- ・農薬不使用のよさを伝える。
- ・子育て中のお母さんのつながりができる。
- ・農薬を使わないため、土や自然環境を守り、子どもたちに自然豊かな未来を残すことができる。
- ・子どもが土に触れ、外で遊ぶ機会を作ることで、病気に強い体づくりができる。

(2) この事業の終了時点では、事業対象がどのようなになる状態 (成果) を目指しますか? また、それはどのように確認しますか? (実績報告時に自己評価をします。)

- 農薬不使用の野菜や、野菜づくりに関心をもつ親子が増えた。
- 参加者にアンケートで、活動する親子の人数の増減。
- 参加している親子の食卓におおき農園で育てた野菜がどのくらいあったか、アンケートを取る。

(3) 事業を実施することによる波及効果がありましたら記入してください。

- ・農薬不使用で野菜を作っている農家さんの見直しが増える。
- ・家庭菜園・市民菜園を始める人が増え、耕作放棄地が減る。
- ・農薬不使用の野菜への関心が高まり、系合食などで普及、もらえる機会が増える。
- ・農薬を使わないので、大地に豊かな自然を未来に残せる。

